

原子力防災に関する確認クイズ【計 10 問】

問 1

原子力発電所で発生する放射線の種類として正しいものはどれ？（正答 2 つ）

1. 紫外線
2. 中性子線
3. ガンマ線

正解: 2. 中性子線 3. ガンマ線 (γ 線)

問 2

放射線が人体に与える影響で正しいものはどれ？

1. すべての放射線は無害である
2. 放射線を長時間大量に浴びると健康に悪影響がある
3. 放射線を長時間大量に浴びると健康にとても良い影響がある

正解: 2. 長時間大量に浴びると健康に悪影響がある

問 3

原子力発電所で事故が起きたことを知った時に、最初にとるべき行動はどれ？

1. 直ぐに地域の避難所に避難する
2. 市からの情報を集める
3. 自分で判断して外に出る

正解: 2. 市からの情報を集める

問 4

原子力災害時に放射性物質の吸引を避けたり、放射線から身を守るために自宅などに閉じこもることを何と言いますか？

模範解答例: 屋内退避

問 5

原子力災害の緊急事態区分で、最も深刻な状態は？

1. 警戒事態
2. 施設敷地緊急事態
3. 全面緊急事態

正解: 3. 全面緊急事態

問 6

東海第二発電所からの距離により原子力災害対策重点区域が定められています。それぞれの区域はどのように定められていますか？

- ・ PAZ：原子力発電所からおおむね○○km
- ・ UPZ：原子力発電所からおおむね○○km～○○km

正解: PAZ：原子力発電所からおおむね 5 km

UPZ：原子力発電所からおおむね 5 km～30 km

問 7

皆さんの中学校の立地場所（住所）の区分として正しいものはどれ？

1. PAZ
2. UPZ

正解: 松風中学校のみ 1. PAZ、他の中学校は 2. UPZ

問 8

PAZ と UPZ での避難行動の違いについて、簡潔に説明してください。

模範解答例: PAZ では早期に（「全面緊急事態になったら」、「放射性物質の放出前に」などでも可）避難を実施するが、UPZ ではまず屋内退避を行い、汚染の程度（「周辺の放射線量」、「モニタリングポストの値」などの語句でも可）により市からの指示で、避難や一時移転を行う。（下線は重要ワード）

※ 「PAZ は放射性物質放出前の避難」、「UPZ は放出以降の避難や一時移転」が理解されていれば可（指定経路等での避難や自家用車避難が基本などは共通事項）

また、安定ヨウ素剤や避難退域時検査などについて、正しい認識の記述があれば先生の判断で加点等してもらっても結構です。

問 9

避難等の際の移動手段の原則は何？

1. 自家用車
2. バス
3. 徒歩

正解: 1. 自家用車

広域避難計画では、原則自家用車としています。万一の避難に備え、普段からの給油をこころがけましょう。自家用車避難が困難な方や、保護者への引渡しができず、学校で屋内退避している場合などにはバスで避難します。

生徒が学校からバスで避難した場合には、避難中継所で保護者へ引き渡すことになります。

問 10

UPZ 地区の住民が放射性物質の放出以降に日立市が準備するバスで避難等する場合、日立市を出てから避難先に到着するまでの順番は？

1. 一時集合場所
2. 避難中継所
3. 避難退域時検査場所

正解: ① 一時集合場所→③避難退域時検査場所→②避難中継所

問題文にあるとおり、「放射性物質の放出」以降の避難等の場合に立ち寄って検査等を受ける。（UPZ だけでなく PAZ の住民でも放射性物質の放出以降に避難する場合は立ち寄ることが必要になる。）

原子力災害時にどこに検査場所を設置するかは、茨城県が決定する。

1. 一時集合場所は、自家用車避難しない（出来ない）人が集合して避難バスに乗車するための施設、市内各小学校等が指定されている。
2. 避難中継所は、避難先市町に到着した避難者が最初に行く施設
ここで個々の避難所の指定を受ける。
3. 避難退域時検査場所は、検査や簡易除染を行う場所